

ポツダム大学

ペトラ=ヴァルシュブルガー教授講演会



Ochanomizu Univ.
Institute for SDGs Promotion

心理社会的要因が食行動と肥満に及ぼす影響： 予防と介入への示唆

The influence of psychosocial factors on eating behavior and obesity:
Implications for prevention and intervention

本講演では、肥満の原因となる心理社会的要因について簡単な概要に触れた上で、小児や青少年に対する治療介入の例をもとに、ヴァルシュブルガー教授から、予防と介入アプローチに向けた示唆をいただきます。



ポツダム大学カウンセリング心理学講座
患者研修・カウンセリングセンター長

小児期や青年期の生活習慣病や摂食障害に対する心理的アプローチを専門とする。
予防・治療プログラムの開発や、ランダム化比較試験による検証研究の経験多数。

近年では上記に加え、COVID-19の長期的影響や、高齢者の食品選択に関する研究、日独国際共同研究もおこなっている。

2024年3月7日（木） 14：00-15：30

お茶の水女子大学 共通講義棟2号館102室
ZOOM接続可（対面・オンラインハイブリッド開催）

◆言語：日本語、英語（同時通訳あり）

◆事前予約・登録制（参加費無料）

右のQRコードよりお申し込みください



【主催】お茶の水女子大学SDGs推進研究所

<https://www.cf.ocha.ac.jp/sdgs/>

sdgs-office@cc.ocha.ac.jp